

みはらふくし情報

ぼらせんだより 4月



点訳ボランティア養成講座



受講生を
募集します！

「点訳ボランティア」とは、視覚に障がいのある人に「点字」を使って様々な情報を届ける活動です。この講座は、初めて学ぶ人を主な対象として、点字及び点訳（点字翻訳）に必要な基礎知識と技術を学びます。

5月21日（土）～10月8日（土）

毎週土曜日 13時30分～15時30分（全20回）

会場：三原市総合保健福祉センター（三原市城町1丁目2-1）

受講料：1,000円

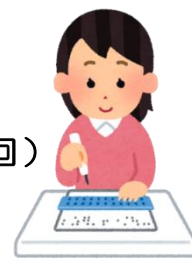
対象：視覚に障がいのある人の支援活動に関心があり、講座修了後に三原市で点訳ボランティア活動ができる人

申込み・お問い合わせは…

三原市ボランティア・市民活動サポートセンター

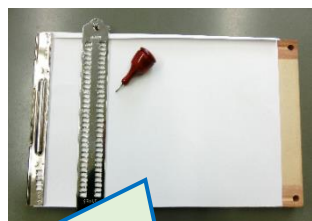
TEL：0848-67-9339 FAX：0848-63-0599

主催：三原市社会福祉協議会



定員
10名

申込み締切
4月28日
（木）



パソコンを使って、パソコン点訳の仕方も学びます。

手打ち点訳には、点字板と点筆を使います。



てんゆう会活動風景

点訳ボランティア てんゆう会が基礎から丁寧に指導します。

三原市災ボラネット 発足！

「三原市被災者生活サポートボラネット推進連絡会議（通称：災ボラネット）」は、発災時に迅速な被災者支援のため、市内の各種団体間のネットワークづくりを目的に設立した会議体です。市内の住民組織や防災団体等、19団体で構成されています。第1回目を3月24日（木）にサン・シープラザで行いました。今後も定期的に会議を開催し、情報共有や研修を通して、円滑な支援体制を推進していきます。

目的

- 迅速な被災者支援のための連携強化
- 被災者の困り事把握や支援体制の構築
- 災害ボランティア事前登録の推進



災害ボランティア
事前登録はこちら
(広島県社協ホームページ)



報告 福祉ボランティア養成講座

3月14日(月)サン・シープラザにて福祉ボランティア養成講座を開催しました。この講座は、一人では外出が難しい障がい者や高齢者が外出機会を減少することなく、自分らしい生活を送るための支援ができるボランティアの養成を目的とし、11人が受講しました。ガイドヘルプと車いすを実際に体験することを通して、外出支援に必要な知識や基本的実技を学びました。また当事者から、日常生活での実際の困りごと等を聞き、改めて外出支援の大切さに気づき、深く考えることができたようです。

【車いすに関する支援】



内秀孝さん

車いすユーザーの内さんから日常生活での困りごとや、車いす操作についてのお話がありました。「けが予防のために、正しい操作をすることはもちろん、車いすを動かす時や段差がある時には声をかけ、相手に確認しながら支援することが大切です。」



段差がある時には声をかけてから動かします。



乗降時はブレーキをかけ、フットレストを必ず上げます。

車の乗り降りや移動には時間がかかります。買い物では、高いところや低いところにある商品に手が届かずに困ります。困っていたら声をかけてくれると大変うれしいです。

【受講しての感想】

- 車いすに乗った人と話をしながら動かすと、心が通っていいと思いました。
- 今まで車いすを扱ったことがなかったので、知識だけでなく実際に体験できてよかったです。

【ガイドヘルプについて】

視覚に障がいのある今津さんから、「見えづらさは人それぞれ違いがあるので、その人に合った支援が必要。」とお話がありました。

今津彩さん



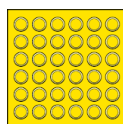
伊東信治さん



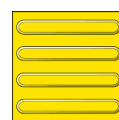
【受講しての感想】

- 目隠しをして視覚障がい者の体験をした時、恐怖を感じとても不安でした。
- ガイドヘルプ体験をすると優しい気持ちになりました。

講師の伊東さんから、「移動支援をする時には周りの情報を伝え、コミュニケーションをとることが大切です。」とお話がありました。



点状ブロック
警告(一時停止)を示す。



線状ブロック
誘導(歩く方向)を示す。

広島盲ろう者友の会三原地区



点字を学習中！

特定非営利活動法人広島盲ろう者友の会には、広島地区・福山地区・三原地区があり、盲ろう者（視覚と聴覚の両方に障害がある人）に対して、自立と社会参加を促進する福祉事業を行い、地域社会との交流を深め、心豊かな地域づくりの推進に寄与することを目的として活動しています。

広島盲ろう者友の会三原地区は、毎月第3日曜日にコミュニケーション教室を開催しています。盲ろう者のコミュニケーション方法は個人によって違います。触手話、手書き文字、指点字、音声等、様々なコミュニケーションの学習を通して盲ろう者との親睦を深めています。

昨年行われたクリスマス会の様子。発表者は手話と音声で話しています。その内容を、盲ろう者に合ったコミュニケーション方法で伝えていきます。全員にきちんと情報が伝わったことを確認しながら進め、ゲームやプレゼント交換等を楽しんでいました。いろいろなコミュニケーションが繰り広げられ、とても活気にあふれていました！皆さんおしゃべりが大好きで笑いがたえません。



接近手話

触手話

発表者

音声で伝達

令和3年度盲ろう者向け通訳・介助員養成講座



昨年の盲ろう者向け通訳・介助員養成講座は三原市で開催されました。講座には手話通訳とパソコン要約筆記の情報保障がありました。講座では盲ろう者とのコミュニケーション方法や、通訳介助に関する知識や技術を学びました。盲ろう者の体験談を聞いたり、通訳介助の実習を通して、介助員として大切にしなければならないこと等を学びました。今年度の講座は呉市で開催されます。

昨年のお花見交流会は三原市で開催されました。残念ながら雨でしたが、三原地区の会員が心を込めて作った折り紙の桜で部屋を飾り付け、交流を楽しみました。雨が上がりには本町付近の桜を見に行くことができました。



広島盲ろう者友の会 三原地区

コミュニケーション教室
毎月 第3日曜日
13時～15時
サン・シープラザにて



鐘をついた振動はどうでしたか？



盲ろう者と一緒に学び、親睦を深めましょう！

知ってほしい！ ヘルプマークとヘルプカード



【ヘルプマーク】

義足や人工関節を使用している人、内部障害がある人、難病の人や妊娠初期の人など、援助や配慮を必要としている人が周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう作成したマークです。ヘルプマークを見かけたら、公共交通機関では席を譲る、困っていれば声をかけるなど、思いやりのある行動をお願いします。

【ヘルプカード】

障害のある人などが、災害や緊急時、また、日常生活で困ったときなどに、緊急連絡先や必要とする支援内容などを記載して、周囲の人に提示して支援を求めるものです。



お願いしたいこと（理解・援助・配慮等）

（ふりがな）			
氏名	（性別）		
住所			
生年月日	年 月 日	血液型（型）	
連絡先	- -	Rh	+ -
緊急連絡先	- -	（ ）	
障害名・病名等：			
かかりつけ医療機関：			
連絡先	- -	（主治医：）	

助成金情報



みずほ教育福祉財団 第39回「老後を豊かにするボランティア 活動資金助成事業」

高齢者を主な対象として活動するボランティアグループおよび地域共生社会の実現につながる活動を行っている高齢者中心のボランティアグループに対し、利他性を有する活動にて継続的に使用する用具・機器類の取得資金を助成します。

1. 高齢者を対象とした生活支援サービス
2. 高齢者による、地域共生社会の実現につながる活動
3. 高齢者と他世代との交流を図る活動
4. レクリエーションを通じて高齢者の生活を豊かにする活動

締切：5月20日（金）

※詳しくは、ホームページをご覧ください。
<http://www.mizuho-ewf.or.jp>

【ヘルプマークとヘルプカードの配布場所】

- ・三原市役所本庁 ★配布は無料
- ・本郷支所 ★一人につき1個・1枚
- ・久井支所 ★家族や支援者等、代理人による受け取りも可能
- ・大和支所
- ・三原市社会福祉協議会 各地域センター
- ・障害者生活支援センター ドリームキャッチャー

3月31日をもって令和3年度のボランティア活動保険の補償期間は終了しました。
まだ令和4年度の保険の申し込みをされていない方は、お早めに関入手続きにお越しく下さい！

●基本プランの保険料（自己負担）は
一人100円です。

※地震・津波・噴火に起因する死傷は、基本プランでは補償対象外です。

●みはら市民協働サイト つなごうねっと ●

三原のイベントや団体の情報満載！

<http://mihara.genki365.net/>

ボラセンのパソコンでご覧になれます

発行：三原市社会福祉協議会

三原市ボランティア・市民活動サポートセンター

〒723-0014 三原市城町1丁目2-1

（サン・シープラザ 4階）

電話 (0848) 67-9339

FAX (0848) 63-0599

Mail miharavs-c@m-shakyo.jp